

「地球温暖化時代におけるダムの新たな役割について考える」

NPO法人 社会基盤の超長寿命化を考える日本会議(LIME Japan)

【啓発セミナー開催のご案内】

共催：NPO 法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
協賛（予定）：土木学会、日本建築学会、日本コンクリート工学会、日本材料学会、
日本鉄鋼協会、セメント協会、鉄鋼スラグ協会
土木学会認定 CPD プログラム（予定）

【目的】

地球温暖化に伴う洪水対策として、また新たな発電源として、ダムの機能を再評価する動きが起きているが、国家財政の逼迫、優良なダムサイトの適地が減少したこと、自然環境保全の意識の高まり等の理由により、新規のダムの建設は難しい。既開発のダムに水力発電の機能を付加したり、長期効用を図るダムの機能を向上させたり、ダムの機能をフルに生かすべきだということが、喫緊の課題となっている。その一方で、ダムカード、ダムカレー、ダム湖利用の太陽光発電と、最近連日のようにダムをめぐる話題がメディアを賑わしている。

本セミナーにおいては、ダムに求められる新たな役割や課題を真正面から取り上げ、専門家と一緒に、ダムを取り巻くこれらの諸課題について議論し、新たに求められるダムの役割や課題について考えたい。

【開催日時・場所】

2018年7月5日（木）13:00～16:30 意見交換会 16:45～
「アルカディア市ヶ谷」3F 富士（東京都千代田区九段 4-2-25・市ヶ谷駅より徒歩2分）

【プログラム】

- ・開会の挨拶と趣旨説明（当NPO 法人 阪田憲次理事長） 13:00～13:15（15分）
- ・第一部：話題提供（13:15～14:45：各30分、90分）
 - ① ダム再生の推進～「ダム再生ビジョン」から1年～：
豊口佳之氏（国土交通省水管理・国土保全局治水課 事業監理室長）
 - ② ダム操作に求められるもの：
神矢 弘 氏（独立行政法人水資源機構 危機管理監）
 - ③ 水力発電が日本を救う：
竹村 公太郎 氏（NPO 法人日本水フォーラム代表理事 事務局長）
- ・第二部：パネルディスカッション「ダムの新たな役割と課題」（15:00～16:20、80分）
コーディネーター：当NPO 法人 齋藤宏保副理事長（元NHK 解説主幹）
パネラー：第一部講演者3名、当NPO 法人 阪田憲次理事長
- ・閉会の挨拶（当NPO 法人 阪田憲次理事長） 16:20～16:30（10分）

【意見交換会】「アルカディア市ヶ谷（私学会館）」6F 白根 16:45～

【参加申込み】定員 150名 先着順 セミナー2,000円 意見交換会 2,000円

申込先 URL <http://kokucheese.com/event/index/523511>

